

令和5年度 学校経営の全体構想

羽島市立中央中学校

【学校課題】	【市の学校教育指導の方針と重点】
◎いじめ・不登校を未然防止し、生徒が安心して通える学校づくり ～仲間づくり・学力アップ～ <基本方針> ◇生徒の実態に応じた「居場所づくり」と「絆づくり」を「集団づくり」と「授業づくり」で実践する ◇「ほめる(心から認め励ます)」ことで自己肯定感・自己有用感を向上させる ◇ICTを活用して主体的・対話的で深い学び、個別最適化学習ができる授業を実践し生徒の学力の向上を図る	《めざす姿》「志をもって心豊かに学び合い、私自身のために、そして、みんなのために行動できる」 《方針》◇学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。◇全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現する。◇いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努め、早期対応を徹底する。◇不登校の予兆への早期対応や、学校復帰・社会的自立に向けた支援や働きかけを充実する。 《重点》①子どもたちが安全で安心して学ぶことができる学校の環境づくり *安心な環境の確保 *施設設備の充実 *防災教育の充実 ②地域と家庭、学校とが一体となって「生きる力」を育む教育の推進 *コミュニティ・スクールの充実 *「個に応じた指導」と「協働的な学び」の推進 *ICTを活用した学びの推進 *小中一貫教育の推進 *特別支援教育の充実 *道德教育の充実 *健康・体力づくりの推進 *食育の推進

【開校以来の校風】生徒と先生が Fifty-Fifty で創る学校

【学校の教育目標】	願いをもって 自分を磨き 仲間と拓く力を付ける
【学校運営協議会のテーマ】	「仲よく明るい学校にするための5つのやくそく」の徹底 あいさつ・あたたかい声かけ・相手を認める・ルールある ICT・誰でも相談

【経営の重点】		
《願いをもつ(自己実現力)》 ☆夢や憧れをもち、自分を見つめ高める生徒の育成 ●自分の夢や志の実現に向けて、目標(めあて)を掲げる。 ●小学校で作成した「お役立ち山」を交流し、目標確認する。	《自分を磨く(自立力)》 ☆学力の向上とよりよい生き方をめざして粘り強く努力する生徒の育成 ●掲げた目標に向かって、前向きに、ひたむきに取り組む。 ●立志として中学校版「お役立ち山」を作成し、プレゼンする。	《仲間と拓く(共生力)》 ☆他者を理解し、仲間や地域人と協働する生徒の育成 ●相手の思いを理解して、互いに認め合い、励まし支え合う。 ●縦割り活動のリーダーとして、育成する機会をもつ。

【学校の具体的教育活動】		
◎願いを叶える学級づくり ●「学級目標」実現の見通しを語ろう。 ●役割に責任をもち、仲間のために活動することが、自分の成長と幸せにつながることを語ろう。 ◎生徒会の主体的・協働的な学校づくり ●学校行事をリードする執行部と課題を自治的に解決する生徒議会を、学級の活性化に大いに活用しよう。 ●縦割りの活動を利用し、リーダー指導の機会としよう。	◎「できた」「分かった」と実感できる授業づくり、確かな学力の定着 ●考えや学んだことを小集団で交流し感想や質問等やりとりできる学習集団を育てよう。 ●iPad、ロイロノートを積極的、効果的に活用しよう。 ●「聴き方」「話し方」等学習規律を学習委員会と連携し指導し続けよう。 ●自学を求め、漢字の間違いを正す程に確認しよう。 ◎学習集団(学級力)の向上 ●授業の良し悪しについて語り、良い授業のイメージをもたせよう。	◎人間関係の構築、心の醸成 ●廊下で教師も生徒もあいさつ、会釈またはアイコンタクトできるようにしよう。 ●ひびきあい集会を大切にし、活用しよう。 ●不登校ケース会議(校長・教頭・生徒指導・SC・保健員・主任児童員)のアドバイスを生かそう。 ◎家庭・地域との連携 ●学校運営協議会とタイアップして地域ボランティアや地域行事への積極的参加について啓発しよう。 ●HPやCSだよりで生徒の地域での活躍ぶりを発信し、地域を愛し誇りに思う生徒を育てよう。
◎小中の連携 ●学習規律や指導内容を共有し、不登校や生徒指導の課題に対して効果的な対応方法を見出し、実践 ●児童会と生徒会が協働・連携して中央小・中共通の「仲よく明るい学校にするための5つのやくそく」を話題にし、実践 ●児童・生徒の目的意識を育てる「志授業」の実施		

【教職員の構え】	【諸団体との連携】
○ロイロノートとすぐーの活用、整理整頓 ○少なく丁寧に、長く大切に ○毎時間のゴールを具体的に示す ○(改善点)を明示する ○良くないことほど、芽の間に「報連相」	○市教委・子育て健幸課・子相談等との連携 ○民生委員・学校運営協議会員等との連携 ※様々な家庭環境、複雑化する課題に対応するための協力体制の強化